

【オリコンサルが協力 長野県初のEV型自動運転車公道実証】

長野県初のEV型 自動運転車公道実証

オリコンサルが協力

オリエンタルコンサルタンツは、長野県塩尻市で官民連携による同県初のEV（電気自動車）型車両を使った公道での「自動運転レベル2」実証走行に参画する。グリーンスローモビリティの実験を兼ねており、時速約20^{km/h}の低速で一般公道を走行。同社はこの社会実験の検討・運営支援と自動運転車両の乗車モニターなどへのアンケート実施・評価、社会受容性の分析・把握のほか、今後、公道での自動運転走行を進める上で課題整理・対策立案を担う。

実証走行は、塩尻市振興公社（古畑耕司理事長）と同市

が全体統括、アイサンテクノロジーが実証実験を統括し、オリエンタルコンサルタンツ、ティアフォー、損害保険ジャパンなどが協力企業として参画する。

実験車両は、タジマ社製のGSM8（10人乗り）。実験期間は24日から28日まで。時間は午前9時から午後4時まで。走行ルートは広丘駅西口～無印良品／ツルヤ塩尻広丘店の区間で走行距離は約3・8^{km}。所要時間は約30分。

プロジェクトでは、持続性の高い地域公共交通を構築するため、拠点内移動のオンデマンド化と拠点間移動を自動運転化し、双方をシームレスに接続し、“塩尻Maas（モビリティのサービス）”として官民連携体制による運営を目指している。